

村田町武家屋敷（旧田山家） 指定管理者募集要項

～簡易公募型プロポーザル方式による事業者の募集～

宮城県村田町

まちづくり振興課

令和 3 年 1 1 月

## 第 1 「村田町武家屋敷（旧田山家）」指定管理者募集の趣旨

「村田町武家屋敷（旧田山家）」は、村田町の中心部にあり、町指定文化財として歴史の紹介や地域活性化のための施設として運営してきた施設です。

今回、民間事業者等の様々な視点による自由な発想や、経営ノウハウによる施設の魅力向上と収益力向上を期待し、指定管理者の公募をプロポーザル（企画提案）方式で広く募集することとしました。

## 第 2 指定管理者募集の概要

### (1) 対象施設

名称 村田町武家屋敷（旧田山家）

所在 宮城県柴田郡村田町大字村田字西 6 6 番地 3

### (2) 指定期間

令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日までの 3 年間

### (3) 指定管理者の候補者の選定方法

村田町公の施設に係る指定管理者選考委員会（以下「選考委員会」といいます。）において、申請書類及びプレゼンテーションの内容を審査し、総合評価方式で第 1 順位（最優秀提案者）及び第 2 順位（次点提案者）の指定管理者の候補者を選定します。

### (4) 指定管理者の指定手続及び協定の締結

村田町は、第 1 順位の指定管理者の候補者と業務の進め方、施設の活用方法及び経費の節減方法等について協議を行います。同候補者との協議が成立しない場合は、第 2 順位の候補者と協議を行います。

候補者との協議の成立後、村田町議会での議決を経て、当該協議の相手方である候補者を指定管理者として指定します。その後、指定期間全体を通しての「基本協定」を締結し、また、各年度における指定管理料の支払いに係る「年度協定」を締結します。

### (5) 問い合わせ先

住 所 〒 9 8 9 - 1 3 9 2 宮城県柴田郡村田町大字村田字迫 6 番地

担 当 村田町まちづくり振興課

電 話 0 2 2 4 - 8 3 - 2 1 1 3

F A X 0 2 2 4 - 8 3 - 5 7 4 0

E-Mail [mura-mac@town.murata.miyagi.jp](mailto:mura-mac@town.murata.miyagi.jp)

### 第3 指定管理の対象となる施設の概要

#### (1) 指定管理の対象となる施設の概要

※別紙パンフレット及び施設図面参照。

#### (2) 留意事項

- ① 指定管理者となった事業者が、町が指定する業務の範囲以外の内容の自主事業を本施設において行う場合における、建築基準法上の用途変更や消防法をはじめとした各種法令規定事項への対応については、経費の負担も含めて当該事業者の責任において行うこととします。また、これに伴う施設の修繕等については、あらかじめ町と協議の上、町の承認を得た上で行わなければなりません。
- ② 対象施設については、町の指定文化財であるため、増改築や改修に制限があります。

### 第4 指定管理者が行う業務の範囲

#### (1) 施設の運営

#### (2) 施設及び施設内設備、備品等の維持管理

#### (3) 敷地内の建築物、工作物、緑地樹木、庭石、舗装、設備、備品等の維持管理

#### (4) 地域のニーズに即した観光事業の実施

※ いずれも、詳細は「基本協定書（案）」及び「指定管理業務に関する仕様書」のとおりです。

※ 今回の指定管理者の募集については、第6（1）に記載のスケジュールを予定しており、指定管理者の指定手続き完了から指定管理業務の開始までの期間が短いため、上記の業務については、準備の整ったものから順次開始することとします。

### 第5 経費に関する事項

#### (1) 指定管理料の額

過去3か年における指定管理料をお示ししますので、これらを参考に3か年度分の収支計画を作成してください。また、町としては、当該施設を活用した自主事業としての収益事業の実施を期待しています。管理経費の節減の取り組みも含めて、積極的な提案を期待します。

3か年度分の指定管理料の総額の上限及び各年度の指定管理料の額は、提出いただく指定管理収支計画書の提案額を基に、毎年度の予算の範囲内で町と指定管理者の協議によって定めることになります。

#### (2) 指定管理料の支払い

4月1日から翌年3月31日までの町の1会計年度ごとに、請求に基づき、分割し

て支払います。支払いの時期、額及び方法は、別途、年度協定で定めます。

## 第6 指定管理者の募集に関する事項

### (1) スケジュール

募集要項の公表	令和3年11月 1日（月）
説明会	令和3年11月22日（月）
質問の受付	令和3年11月29日（月）から12月1日（水）まで
質問の回答期限	令和3年12月 3日（金）
応募の受付	令和3年12月20日（月）から12月24日（金）まで
プレゼンテーション	応募者に別途通知（令和4年1月下旬頃）
選定結果の通知	応募者に別途通知（ 2月中旬頃）
指定管理者の指定手続	令和4年3月村田町議会定例会議決後

### (2) 募集要項の公表方法

令和3年11月1日（月）から村田町ホームページで公表します。また、担当課であるまちづくり振興課窓口（村田町役場本庁舎2階）でも配布します。郵送による配布は行いません。

### (3) 説明会

- ① 開催日時 令和3年11月22日（月）午後1時30分から
- ② 開催場所 現地（村田町武家屋敷（旧田山家））
- ③ 参加方法 令和3年11月15日（月）午後5時までに申し込みください。上記問い合わせ先メールアドレスに別紙「説明会参加申込書」を電子メールで送信いただくか、FAXによる送信、若しくはまちづくり振興課窓口まで郵送又は持参により申し込みください。また、持参以外の場合については、電話での連絡も併せてお願いします。
- ④ その他 説明会に参加したものの応募を行わないこととした場合は、その旨をまちづくり振興課までご連絡ください。

### (4) 質問書の受付

- ① 受付期間 令和3年11月29日（月）から12月1日（水）まで
- ② 受付方法 別紙「質問送信票」（参考様式第6号）を上記説明会への参加方法と同様の方法で送付ください。なお、電話での質問の受付は行いません。

### (5) 質問書への回答

説明会の全参加者（応募を行わないこととした者を除く。）に対して、原則として電子メールで回答します。電子メール送付時に、こちらから電話による確認の連絡を

入れますので、受信確認後に、受信した旨の返信をお願いします。

意見の表明と解されるもの、説明会で説明済みのもの、質問内容が不明瞭なものについては、回答しないことがあります。

#### (6) 応募の受付

- ① 受付期間 令和3年12月20日（月）から12月24日（金）まで  
※期間最終日の午後5時まで必着
- ② 受付方法 担当課であるまちづくり振興課窓口への持参、又は郵送（書留、簡易書留又は特定記録郵便）による提出をお願いします。

#### (7) プレゼンテーション

応募者には、選考委員会において、提案書に基づくプレゼンテーションを行っていただきます。参加者は数名程度とし、プレゼンテーションの時間は、1申請者当たり概ね30分以内とします。このほかに、若干の質疑応答の時間を設けます。なお、詳細については、後日、応募者に通知します。

### 第7 応募者資格

- ① 別紙「指定管理業務に関する仕様書」に記載の業務を、自ら適切に実施できること。
- ② 提案した計画を自ら適切に実施でき、また、必要な免許・知識・経験・資力・信用及び技術等の能力を有すること。
- ③ 応募者は団体であること。団体の法人格の有無は問わないものとします。個人は対象としません。
- ④ 応募者は、その代表者及び役員が次に該当しないこと。
  - ア 法律行為を行う能力を有しない者
  - イ 破産者で復権を得ない者
  - ウ 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第2項（一般競争入札の参加者の資格。同項を準用する場合を含みます。）の規定により村田町における一般競争入札等の参加を制限されている者
  - エ 地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」といいます。）第244条の2第11項の規定による指定の取消を受けたことがある者
  - オ 指定管理者の指定を委託とみなした場合に、法第92条の2、第142条（同条を準用する場合を含む。）又は第180条の5第6項の規定に抵触することとなる者
  - カ 国税及び地方税を滞納している者
  - キ 村田町暴力団排除条例（平成24年村田町条例第13号）第2条第2号に規定

する暴力団その他の反社会団体である者又はそれらの構成員が行う活動への関与が認められる者

ク 会社更生法に基づき、更正手続きの開始申立てをしている者又は民事再生法に基づき再生手続きの開始申立てをしている者

※ 応募者の資格要件について、関係機関に照会する場合があります。

## **第 8 応募に関する留意事項**

### **(1) 費用の負担**

応募に必要な一切の費用は、応募者の負担とします。

### **(2) 村田町が提供する資料等の取扱い**

村田町が提供する資料等は、応募に係る検討以外の目的で使用することを禁じます。

### **(3) 応募申込書、その他応募者から提出された書類の取扱い**

- ① 応募申込書、その他応募者から提出された書類（以下「応募書類等」といいます。）の著作権は応募者に帰属することとします。ただし、村田町が本件の選定に係る事務等に必要な場合は、村田町は書類の著作権を無償で使用できることとします。
- ② 応募書類等に関して村田町が知り得た事項のうち、応募者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害すると認められるなどの理由により、秘密を要すると応募者から申出のあった事項については、その内容を他に漏らしません。
- ③ 村田町は、応募書類等の取扱いについて不測の事態により生じた損害等については責任を負いません。
- ④ 応募書類等は一切返却いたしません。
- ⑤ 応募書類等提出後の内容変更及び追加は、原則として認めません。ただし、やむを得ない事情があると判断した場合には、内容変更及び追加を認めることがあります。
- ⑥ 応募書類の内容等については、村田町情報公開条例（平成 29 年村田町条例第 12 号）に定める基準等に基づき、公開される場合があります。
- ⑦ 応募申込後に辞退する場合は、別紙「応募取下書」（参考様式第 7 号）を提出願います。

## **第 9 指定管理者の候補者（優先交渉事業者）の選定方法**

### **(1) 選考委員会による審査**

村田町は、町職員で構成する選考委員会により、提案の審査を行い、最優秀提案者（第 1 順位）及び次点提案者（第 2 順位）を選定します。なお、応募の多寡にかかわ

らず審査の結果、最優秀提案者及び次点提案者なしとする場合があります。

## **(2) 選考委員会の運営**

選考委員会は非公開とします。議事内容を後日公表することはありません。なお、プレゼンテーションを実施した後に、選考委員会からの要請により、再度（後日）説明していただく場合があります。

## **(3) 優先交渉事業者の決定等**

選考委員会の結果を受けて、最優秀提案者を第1順位の優先交渉事業者、次点提案者を第2順位の次点交渉事業者として決定します。また、優先交渉事業者との交渉が整わない場合又は優先交渉事業者が第7「応募者資格」に規定する要件を満たさない者であった場合には、次点交渉事業者と交渉します。この場合、本募集要項における優先交渉事業者に関する規定は、次点交渉事業者に適用します。

## **(4) 資格の喪失**

次のいずれかに該当する応募者は、審査を受ける資格、優先交渉事業者・次点交渉事業者となる資格を喪失するものとします。

- ① 応募者が第7「応募者資格」に規定する要件を満たさない場合
- ② 提出書類に不備又は虚偽の記載があった場合
- ③ 公正な審査に影響を与える行為があった場合
- ④ 他の応募者の妨害をするなど、手続の遂行に支障をきたす行為があった場合
- ⑤ その他信頼関係を損なった場合

## **第10 審査方針及び審査項目等**

応募された提案の内容について、村田町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成17年村田町条例第17号。以下「指定管理条例」といいます。）第4条に規定する選定基準並びに次の審査方針及び審査項目に基づき審査を行います。これらの条件に合致しない提案又は第7「応募者資格」に規定する要件を満たさない者の提案については、審査の対象としません。また、審査方針・審査項目のいずれかにおいて、著しく劣り又は不適と判断された提案は、他の提案の有無及び内容にかかわらず、失格とすることがあります。

### **(1) 審査方針**

応募された提案の審査は、以下の項目を基本として、具体的には次の（2）審査項目に基づき行います。

- ① 本募集要項に規定する各種条件を満たしていること。

- ② 地域との連携を積極的に行う計画内容であること。
- ③ 当該施設を活用した自主事業としての収益事業の実施についての計画を有していること。また、当該計画の実現可能性が高いものであること。

## (2) 審査項目

### < 提案内容－４５点 >

#### ① 当該施設を活用した事業の内容

当該施設を活用した村田町武家屋敷（旧田山家）条例（平成２９年村田町条例第２号。以下「武家屋敷条例」といいます。）第３条に規定する事業及び自主事業の内容について、観光の魅力向上の取り組みとして優れているか、収益性の高いものか、村田町の他の観光資源との連携が図れるものか、当該施設の特性を引き出しているか。

### < 事業の継続性 － ５０点 >

#### ② 事業スケジュール・管理運営方法

事業開始までのスケジュールや管理運営方法は適正か。

#### ③ 事業運営の確実性・継続性

ア 経営状況が健全で、資金計画は適正か（指定管理料の希望額はどうか）。

イ 事業を継続して行うことができる内容か。

### < プレゼンテーション － ５点 >

#### ④ プレゼンテーション

ア 事業に対する熱意は十分か。

イ 活用方針等を熟知し、プレゼンテーションした内容、質問等への対応に不安はないか。

## (3) 審査方法

選考委員会において、各応募者からのプレゼンテーション（３０分程度を想定）及び質疑応答を行います。その後、各提案について、第１０（２）に示す審査項目ごとの評価を各委員が審査し、それらを合計して最優秀提案者及び次点提案者を選定します。なお、応募者が１者であっても、選考委員会を開催します。また、プレゼンテーションについては、原則として提案書を使用して行うこととします。審査の開催日時については、別途通知します。

## 第１１ 審査結果

### (1) 審査結果の通知



審査結果については、書面により通知します。なお、審査結果に関する問い合わせ及び異議については一切受け付けません。

## (2) 審査結果の公表

選定後、優先交渉事業者を決定し公表します。公表の方法は、町のホームページ等により行います。なお、優先交渉事業者の詳細な公表はしないこととします。

## (3) その他

優先交渉事業者との交渉が整わない場合又は優先交渉事業者が第7「応募者資格」に規定する要件を満たさない者となった場合には、次点優先交渉事業者と交渉することとします。この場合、本募集要項における優先交渉事業者に関する規定は、次点優先交渉事業者に適用します。

## 第12 応募書類等の提出（全て各1部）

- ① 応募申込書（様式第1号）
- ② 法人登記簿の謄本（法人の場合。発行後3か月以内の原本）
- ③ 団体の定款、寄付行為、規約その他これらに相当する書類（複写可）
- ④ 代表者の身分証明書（非法人の場合）
- ⑤ 申込資格に関する申立書（様式第2号）
- ⑥ 国税及び地方税の納税証明書（募集要項の配布開始日以降に交付されたもの）又は納税義務がない旨及びその理由を記載した申立書（様式第2号）
- ⑦ 村田町武家屋敷（旧田山家）における事業計画書（参考様式第3号）
- ⑧ 村田町武家屋敷（旧田山家）の管理に係る収支計画書（参考様式第4号）  
初年度から3年分の収支計画及び支出に係る事項について記載します。
- ⑨ 前事業年度の収支（損益）計算書又はこれらに相当する書類（既に財産的取引活動をしている団体のみ）
- ⑩ 前事業年度の貸借対照表及び財産目録又はこれらに相当する書類（作成しているもののみ）
- ⑪ 現事業年度の収支予算書及び事業計画書（既に財産的取引活動をしている団体及び新たに指定管理者になろうとする施設の業務以外の事業を開始する団体のみ）
- ⑫ 団体の事業報告書を作成している場合は、当該報告書
- ⑬ 団体の役員名簿及び組織に関する事項について記載した書類又はこれらに相当する書類
- ⑭ 暴力団排除に関する誓約書兼同意書（参考様式第5号及び第5-2号）

## (2) 応募書類に関する留意事項

- ① 応募者に対して、選考委員会の判断により、追加資料の提出を求める場合があります。
- ② 提出書類は、審査の過程で必要に応じて事務局で複写して使用するので、複写しやすい仕様としてください。具体的には以下の点に留意願います。
  - ア 提出書類は、ホチキス止めをしないでください（必要に応じてクリップ等でまとめる等）。
  - イ 全て片面印刷としてください（既存のパンフレット等は除く）。

### 第 1 3 契約に関する事項及び費用負担に関する事項

契約に関する事項及び費用負担に関する事項については、別紙「基本協定書（案）」及び「指定管理業務に関する仕様書」を参照ください。

なお、詳細については、協議の上決定します。

### 第 1 4 その他

- ① この簡易公募型プロポーザルに応募しようとする提案者等は、指定管理条例、村田町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則（平成 1 7 年村田町規則第 1 1 号）、武家屋敷条例、村田町武家屋敷（旧田山家）管理規則（平成 3 0 年村田町規則第 1 2 号）、本募集要項及び関連資料に記載された事項について十分に熟知してください。
- ② 指定管理者に選定されたことにより、関係法令上必要な各種許認可等の審査が免除されるものではありません。また、提案した計画は、応募者の責任と負担により実施すべきものであり、村田町が各種許認可等について特別な計らいをするものでもありません（計画実施の可否については、関係機関に確認して申請願います。）。
- ③ 本募集に係る施設は、応募者の責任により、現地で開催予定の説明会に参加するなど、施設の状況をよく確認したうえ応募してください。
- ④ 本募集要項に定めるもののほか、必要な事項については、村田町の指示に従っていただきます。

様式第 1 号(第 4 条関係)

年 月 日

村田町長 大沼 克巳 様

法人・団体名 \_\_\_\_\_  
法人・団体所在地 \_\_\_\_\_  
代表者名 \_\_\_\_\_ 印

公の施設に係る指定管理者の募集について、下記のとおり申し込みます。

記

1 施設の名称及び所在地

施 設 の 名 称	村田町武家屋敷（旧田山家）
施設の所在地	宮城県柴田郡村田町大字村田字西 6 6 番地 3

2 提出書類

- ☐ (1) 法人登記簿の謄本（法人の場合）
- ☐ (2) 団体の定款、寄付行為、規約その他これらに相当する書類
- ☐ (3) 代表者の身分証明書（非法人の場合）
- ☐ (4) 申込資格に関する申立書（様式第 2 号）
- ☐ (5) 国税及び地方税の納税証明書（募集要項の配布開始日以降に交付されたもの）又は納税義務がない旨及びその理由を記載した申立書（様式第 2 号）
- ☐ (6) 管理を行う公の施設の事業計画書
- ☐ (7) 管理に係る収支計画書
- ☐ (8) 前事業年度の収支（損益）計算書又はこれらに相当する書類（既に財産的取引活動をしている団体のみ）
- ☐ (9) 前事業年度の貸借対照表及び財産目録又はこれらに相当する書類（作成しているもののみ）
- ☐ (10) 現事業年度の収支予算書及び事業計画書（既に財産的取引活動をしている団体及び新たに指定管理者になろうとする施設の業務以外の事業を開始する団体のみ）
- ☐ (11) 団体の事業報告書を作成している場合は、当該報告書
- ☐ (12) 団体の役員名簿及び組織に関する事項について記載した書類又はこれらに相当する書類
- ☐ (13) 暴力団排除に関する誓約書兼同意書

※ 提出する書類にレ点を記入すること。

3 担当者連絡先

担当者所属・氏 名：
電話番号／FAX 番号：
E-M a i l アドレス：

様式第 2 号（第 4 条関係）

年 月 日

村田町長 大沼 克巳 様

法人・団体名 \_\_\_\_\_  
法人・団体所在地 \_\_\_\_\_  
代表者名 \_\_\_\_\_ 印

村田町武家屋敷（旧田山家）の指定管理者の募集に係る申込書類について、下記のとおり申し立てます。

記

- ☐ 以下の事項のいずれにも該当しない。
- (1) 地方自治法施行令（昭和 2 2 年政令第 1 6 号）第 1 6 7 条の 4 第 2 項（同項を準用する場合を含む。）の規定により本町における一般競争入札等の参加を制限されている者
  - (2) 指定管理者の指定を委託とみなした場合に、地方自治法第 9 2 条の 2、同法第 1 4 2 条（同条を準用する場合を含む。）又は第 1 8 0 条の 5 第 6 項の規定に抵触することとなる者
- ☐ 国税及び地方税の納税義務がない。  
（理由）

※ 該当する項目にレ点を記入すること。

(参考様式第 3 号) ※同一内容であれば、任意様式での提出も可能です。

<div>村田町武家屋敷（旧田山家）指定管理 業務計画書</div>
<div>①基本事項</div> <div>ア 基本理念（団体の理念並びに事業に対する理念）</div> <div>イ 指定管理業務・地域のニーズに即した観光事業の実施方針</div>

## ②事業を実施することによる地域へのメリット

③当該施設を活用し、実施する自主事業の内容

④これまでの実績等			
現在運営している類似事業	所在地	主な業務内容	運営開始年月日
将来にわたり地域に貢献する活動（予定）			
その他、特記すべき事項があれば記入してください。			

**⑤事業スケジュール・管理運営方法**

ア 事業スケジュール表

イ 管理運営方法

エ 指定管理料の希望額

金

円／年



## ■施設利用概要図

※ 各施設の利用内容・規模・用途別階層別床面積表等を記載します。

注) 本紙にまとめられない場合は任意様式でかまいません(A 3 横でも可)。また、縮尺の正確性は求めません。

(参考様式第4号) **事業収支計画書** ※同一内容であれば、任意様式での提出も可能です。  
(単位:円)

収支計画 (適宜必要項目を追加・削除してください。)		
(1) 収入計画 (      年度・消費税抜き)		
項      目	金      額	積算根拠等
合      計		
(2) 収入計画と事業継続性の説明 (継続的に運営できる根拠等)		
(3) 支出計画 (      年度・消費税抜き)		
項      目	金      額	積算根拠等
(1)建物維持管理費		
(2)修繕費		
(3)人件費		
(4)公租公課		
(5)支払利息		
(6)損害保険料		
(7)売上原価		
(8)借入金返済額		
合      計		
(4) 支出に係る特記事項		

※収支計画は、各年度ごとに作成してください。別紙にまとめていただいてもかまいません。

(参考様式第 5 号)

## 暴力団排除に関する誓約書兼同意書

当法人等を構成する全ての者は、「村田町武家屋敷（旧田山家） 指定管理者募集」の応募にあたり、次の各号のいずれかに該当する者ではないことを誓約します。また、村田町暴力団排除条例の趣旨により、関係機関に対し、照会される場合があることに対し同意しています。

なお、上記の誓約に反することが明らかになった場合は、契約等が取り消されても異存ありません。

- 1 村田町暴力団排除条例（平成 24 年村田町条例第 13 号。以下「条例」という。）  
第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）
- 2 条例第 2 条第 3 号及び 4 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）
- 3 暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する次に掲げる者
  - （1）暴力団員であることを知りながら、その者を雇用・使用している者
  - （2）暴力団又は暴力団員に経済上の利益や便宜を供与している者
  - （3）役員等が暴力団又は暴力団員と社会通念上ふさわしくない交際を有するなど社会的に非難される関係を有している者

年 月 日

村田町長 大沼 克巳 様

(応募者名)  
所 在 地  
  
名 称

役職名・代表者名



(参考様式第 5－2 号) ※同一内容であれば、任意様式での提出も可能です。

(暴力団等の排除に関する誓約書添付資料)

名簿（役員等一覧表）

- 【記入要領】
- 1．記載例に従って、役職・氏名（ふりがな）・生年月日・住所を記載してください。
  - 2．登記事項証明書に記載されている役員全員及び支店もしくは事務所の代表者を記載してください。

応募者名： \_\_\_\_\_

役 職	(ふりがな) 氏 名	生年月日	住 所
【記載例】 代表取締役社長	むらた やくば	1 9 8 0 年   9 月 1 9 日	村田町大字村田字迫 6 番地
	村田 役場		
		年   月   日	
		年   月   日	
		年   月   日	
		年   月   日	
		年   月   日	
		年   月   日	
		年   月   日	
		年   月   日	
		年   月   日	
		年   月   日	

※上記に記載された個人情報については、暴力団員等の該当性の確認にのみ使用し、その他の目的には一切使用しません。

(参考様式第6号) ※同一内容であれば、任意様式での提出も可能です。

## 質 問 送 信 票

FAX : 0 2 2 4 - 8 3 - 5 7 4 0

E-mail : [mura-mac@town.murata.miyagi.jp](mailto:mura-mac@town.murata.miyagi.jp)

年 月 日

送信先 村田町まちづくり振興課

### 「村田町武家屋敷（旧田山家） 指定管理者募集」に関して

応募者名			
住所（所在地）	〒		
代表者名			
担当者			
連絡先	TEL FAX		E-mail
質問内容			

(参考様式第 7 号)

応 募 取 下 書

年 月 日

村田町長 大沼 克巳 様

(応募者)  
所 在 地  
  
名 称  
  
代表者の氏名

印

次のとおり、村田町武家屋敷（旧田山家）指定管理者募集に関する簡易公募型プロポーザルの応募を取り下げます。

受付番号	
取り下げ理由	

(別紙)

年 月 日

村田町長 大沼 克巳 様

説明会応募申込書

村田町武家屋敷(旧田山家)に関する指定管理者の募集に関する説明会について、参加を申し込みます。

(フリガナ) 応募者名称・代表者氏名	
所在地	
電話番号／FAX	
E-mail	
担当者(所属・氏名)	